

東京学芸大学（大学リレー熟議④）

子どもの豊かな学びと育ちを支えるために、大学・住民等、地域の様々な主体 が出来ることは何かをテーマに熟議

【日 時】平成23年12月3日（土）

【テーマ】子どもの豊かな学びと育ち～私たちができることってなんだろう～

- （サブテーマ）Ⅰ.子どもと学び：子どもを取り巻く学びの環境・場・仕組みづくりなど
Ⅱ.子どもと安全： 〃 環境・防災・危機管理能力の育成など
Ⅲ.子どもの未来と仕事：自己実現に向けた学び・場・仕組みづくりなど

【参加者】108名（約9名×12グループ）

※大学生、保護者、学校関係者、自治体職員、大学教員、文部科学省職員等。
（傍聴者を含めると182名が出席）

【スケジュール】

1. 開会宣言 椿真智子（地域連携推進部門長）
2. 主催者：学長あいさつ 13:02～13:08（6分）：村松泰子学長
3. 主催者：文部科学省あいさつ 13:09～13:15（6分）：板東久美子生涯学習政策局長
4. 「熟議2011 in東京学芸大学」の趣旨とテーマ・サブテーマの説明 13:16～13:26（10分）
：松田恵示（TSTEP推進部門長）
5. 「熟議」（グループワーク） 13:30～15:50
 - ・ 13:30～14:30 前半（60分）
 - ：自己紹介（全員）、テーマ・作業の進め方について説明（ファシリテーター）
 - テーマに関する意見・問題点をだしあう、意見や問題点の集約・整理
 - 問題点の絞り込みとそれに対する対応や解決方法について意見をだしあう
 - ・ 14:40～15:40 後半（60分）
 - ：問題点への対応や解決方法の整理・意見交換、今後に向けた提言まとめ
- 15:40～15:50 最終まとめ（10分）全体会での発表内容の検討
6. 全体会（各グループの発表） 16:00～16:40（40分）
 - 1グループ2分、グループの代表者が発表（当日、各グループ参加者から発表者を選出）
7. 感想・意見 16:40～16:58（18分）
 - ・ 学外参加者、文部科学省（板東久美子生涯学習政策局長）、村松学長
8. 閉会のあいさつ 椿真智子（地域連携推進部門長）

○意見交換会・交流会 17:30～19:00

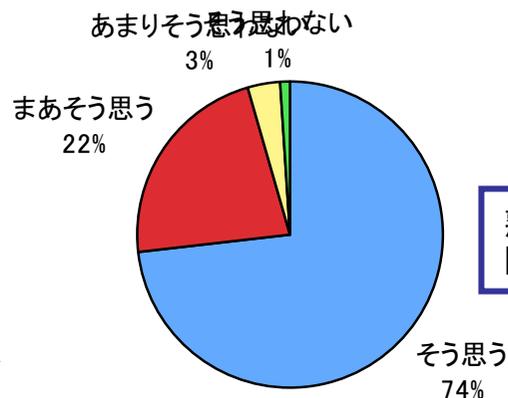
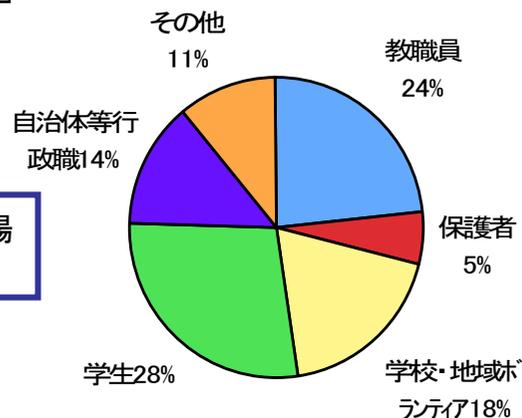


議論の内容(抜粋)

- ・子どもに学習意欲がない
→地域との交流機会が必要、学校での勉強が役に立つことが実感できる仕組みが必要、大人（教師・親）も子どもと一緒に
なって学び、遊ぶことで共に育つことが必要 など
- ・教師が多忙すぎる
→学校・家庭・地域の役割分担を改めて整理し、共有すべき。そのために熟議をする必要がある など
- ・教師の資質に差がある
→価値観も似ている学生が集まる大学での学びだけではなく、大学が所在する地域を学びのフィールドにし、在学中に
資質を高めることが必要 など
- ・コミュニケーション力が不足
→地域こそ多様性の宝庫であり、コミュニケーション力の向上に役立つ。もっと触れ合う機会をつくることが必要 など
- ・子どもの危機管理能力を高める必要
→挨拶などからコミュニケーション力・伝え方などを学ぶことが大事 など
- ・適性がある仕事分からない
→教師や家族等が自分の仕事について話す機会を設けたり、職場体験の機会を増やすことが必要 など

アンケート結果

地域の様々な立場
の方が参加



熟議を終えてテーマへの興味・
関心が高まったか：**96%**